



Rainbow color communication

にじいろ通信

つうしん

一人はみんなのために みんなは一人のために




霧島のミヤマキリシマ鹿ヶ原

CONTENTS

- P2 院長 挨拶
- P3 研修医抱負・松本医師異動のお知らせ
- P4・P5 対談シリーズ「当院の外科医療について」
- P6 部門紹介 ～検査～
職員紹介 ～レントゲン技師～ 鮫島 保人 主任
- P7 地域包括ケア病棟の紹介
- P8 当院の内科紹介患者の受け入れに関するお願い



 鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院

院長
あいさつ
Director message



国分生協病院院長
山下 義仁

梅や寒緋桜が咲き始め、水の温んできた今日この頃、皆様ご健勝のことと存じ上げます。
東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から6年が経ちました。避難者は本年2月13日現在でも全国で12万3168人にのぼるといいます。今年の春に4町村の避難指示が解除される予定ですが、とても帰ることはできない状況です。メルトダウンした原子炉も事故収束とは程遠い状況です。振り返って私たちの住む鹿児島県には川内原発がありすでに再稼働しています。もし川内原発において福島原発ほどの事故が生じれば霧島市も影響を受けることは避けられないでしょう。風光明媚で農業や畜産の盛んなこの地域で安心して暮らせることを医療や介護の面から支えようと日々努めている私たち医療者が、すぐにでも原発を止めてほしいと望むのは自然なことだと思います。

さて、今年2月14日の霧島市議会本会議において、二つの陳情書が採択されました。一つ目は、「霧島市民の医療を充実するための陳情書」で、当院も構成団体である霧島市社会保障推進協議会からのもので、1. 霧島市の国民健康保険税引き下げを継続すること 2. 霧島市の子ども医療費の病院窓口での無料化（現物給付方式）をはかること の2点を陳情しました。この結果、霧島市の国民健康保険税は2017年度も引き下げが継続されることになりました。霧島市では国保に加入している世帯の約7割が年間100万円未満の課税所得階層であり、誰でもが負担できる国保税の実現に近づいたと考えます。子ども医療費の窓口負担無料化は、まだ予算措置がなくこれからの運動が必要です。二つ目は、「在宅酸素療法患者への補助を実現するための陳情書」です。これは当院の若手医師2名が陳情したもので、酸素濃縮型装置を利用している家庭での電気代の補助を求めるもので、鹿児島市では既に行われているものです。こちらも患者・家族や医療関係者と行政への働きかけをしていきたいと考えています。

新病院は今年9月完成予定、10月引っ越し、11月1日開院予定です。10月後半から11月初旬にかけて多少なりともご迷惑をおかけすることがあるかと存じますが、今年度もよろしくお願い致します。

地域を守る医師を目指します

研修に向けて

「充実した研修が送れるように、一生懸命取り組みます。」



野元 翔平

1. 出身地

鹿児島県いちき串木野市
研修医 1 年目

2. 国分での研修内容

処置（血ガス、気管カニューレ交換など）、担当医業務、シャント術の助手、当直、エコー研修 など

3. 研修中大変だったこと

当直業務

4. やりがいを感じること

患者さんが笑顔で退院されたとき

5. 霧島・始良地区の印象

思っていたより、病院自体が街中にあり、生活する上で、とても便利なことに驚きました。

6. 抱負

5月まで、国分生協病院で研修させていただきます。分からないことは近くのスタッフがすぐに教えてくださり、とても働きやすい印象です。まだまだ未熟な点が多く皆様には何かとご迷惑おかけすると思いますが、一生懸命取り組みますのでご指導の程よろしくお願いいたします。

異動のお知らせ



松本 政寿

松本医師異動のお知らせ～長い間お世話になりました。

（平成 29 年 3 月 1 日より、鴨池生協クリニック院長に赴任しました。）

消化器内科・肝臓内科 松本 政寿

地域の皆様へ

国分生協病院の思い出としては、なんと言っても一番は、赴任数日後より母が体調を崩し、介護休暇を取ったもののそのまま亡くなって忌引きになったことです。異動の時期で大変忙しい中、医局の先生方の協力を得て無事お葬式を済ませることが出来ました。その当時の医局・地域の先生方に心より感謝致します。その後は、消化器内科・肝臓内科の医師として、また療養病棟担当として地域医療に貢献できる

よう頑張ってきたつもりです。また地域の先生方には当院の医師体制が厳しくなった時、私どもの要請に応え診療支援をしていただき大変有り難うございました。国分生協病院は皆様ご存じの通り今年 11 月新築移転いたします。引越に際し皆様方には大変ご迷惑をお掛けすることがあるかもしれませんが、これからも末永くお引き立て下さいませ。7 年間の勤務中皆様方には大変お世話になりました。有り難うございました。

対談シ

当院の外

手術室長(外科)
税所 孝樹



新病院移転後は、外来通院・入院の化学療法に力をいれていきます



【外来医療】

税所：週3日（月・水・金）の午前外来診療を行っています。術後管理・外傷処置・乳がん検診などが主となっています。特に乳がん検診においてはマンモグラフィー撮影の件数も近年増加傾向しており、去年は300件を上回りました。

早田：外来診療は医師1名・看護師1名で行っています。手術を予定された方については、術後早期に退院できるように、外来通院時より手術前の検査や手術後の合併症予防として行っていただく呼吸訓練等を取り入れ、一日でも早く退院が出来るよう取り組んでいます。



税所医師の診察風景

【病棟医療】

税所：毎週火曜日を手術日として、腹腔鏡下胆のう摘出術をはじめ、鼠径ヘルニア・胃、十二指腸手術・小腸、大腸手術・悪性腫瘍手術・虫垂切除術等の手術を行っています。去年の手術件数は、全身麻

酔91例・局所麻酔56例行いました。

また、今年度より化学療法も再開し、短期間で治療をおこなっているかたもいらっしゃいます。

早田：入院時より、安心して手術を受けられるよう手術前のオリエンテーションを行っています。また、手術後早期に退院できるよう手術前から医師・病棟看護師・手術室看護師・リハビリなど他職種とのカンファレンスを開催し、早期に退院できるように看護・援助させていただいています。



新病院・化学療法室（予定）

【医療生協ならではの取り組み】

早田：当院では胃・腸の切除術を行った患者さんを対象に「すこやか会」という患者会の活動を行っています。年1～2回の学習交流会を開催しています。学習会は、薬剤師・理学療法士による「貧血について」や「日常で出来る簡単な運動方法」など分かりやすく興味を持ってもらえる内容を企画できるようにしています。また交流会では昼食を交えながら和気あいあいとした雰囲気の中で活動を行っています。

リーズ 科医療 について

外科グループ看護師
副主任

早田 理恵



充実した医療活動に貢献できるように、
様々な職種と連携しながら、楽しく
看護できるように努めていきます。



患者会すこやか会①

税所：今年度の「すこやか会」は、おいしい昼食と温泉につかり、日頃病院受診時にはなかなか出来ない、スタッフと患者さんが趣味の話をしたり、気になることを話したりしながら充実した時間を過ごしたり、今年度もたくさんの方と交流を図ることができました。



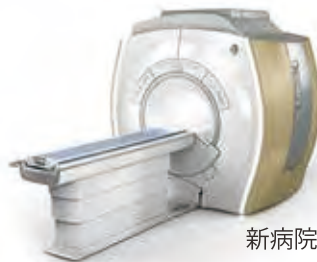
患者会すこやか会②

【今後の目標】

税所：今年は11月に新病院がオープンします。MRIも導入になっています。さらに、今年度から化学療法を

入院で再開し、今後外来でも開始予定です。また、非外傷の消化器外科を中心として多くの患者さんの受け入れを今後もしていきたいと考えています。

早田：新病院移転に向け、今後も組合員さんと共に、健康祭りや、班会に参加しながら安全安楽な医療活動に貢献できるよう他職種にも協力を頂きながら楽しく看護できるよう努めていきたいです。



新病院・MRI導入予定

【国分生協病院の外科医紹介】

税所：外科医になって早36年になりました。私は消化器外科を専門に診療を行っています。昨年は還暦を迎えて若手外科医と2人体制で日々の診療を頑張っています。プライベートではテニスをたしなみまた、昨年からは鹿児島マラソンに参加して体力づくりをしています。

鈴東：外科医になって7年目になります。手術のほか、化学療法の担当もします。学生時代から空手をやっており、気力・体力ともに自信があります！皆さんよろしくおねがいします。

部門紹介

～ 検査 ～

当検査部は、スタッフ数6名（正職5名 パート1名）で平均年齢も35歳と比較的若いスタッフ構成となっています。

私たちは、地域医療のニーズに応える検査室づくりをすすめています。その中でも現在重視して取り組んでいるのが睡眠時無呼吸関連検査です。

睡眠時無呼吸症候群（SAS）は、十分な睡眠がとれないだけでなく心臓病、高血圧、糖尿病など様々な生活習慣病の発症および状態の悪化を招く恐れがあります。したがって、SASの診断と治療が必要になります。

現在当院では、アプノモニター2台をスクリーニング検査としてフル稼働させ、PSG検査を週2回（月・木）実施しています。

さらに生活習慣病との関連では、血圧変動を24時間記録しパターン分析から早期高血圧・白衣血圧・仮面高血圧の診断をより確実なものとし、あわせて薬剤の有効持続時間などにも活かせる機器（ホルター血圧計）を導入・稼働させています。

これらの機器以外にも地域医療に貢献できる検査機器の整備もすすめています。新築移転も含めてさらに検査室の充実を図っていきます。



職員紹介

～放射線を扱うスペシャリストとしての役割～



放射線部 鮫島 保人(さめしま やすと)主任

《放射線技師に求められるもの》

私達「診療放射線技師」は、レントゲン撮影、CT、アンギオ、超音波検査など、画像診断において中心的な役割を果たしています。当院には現在、5名の放射線技師が所属しています。日々変化する医療技術の習得や、CTや透視などの画像を読み取る力を磨くため、日々の研鑽が欠かせません。また、放射線を専門に扱う職種として、被ばく管理も重要な業務です。適正な線量で撮影し、撮影された画像を的確に判断する総合的な技術向上を目指し、日々取り組んでいます。

《今後の役割について》

2017年11月に国分生協病院は新築移転します。それに伴い放射線部に新たな医療機器として「MRI」が導入されます。これまで他の院所に紹介していた急性期の脳梗塞や、総胆管結石などの肝・胆道系の患者様の撮影と診断が可能になります。救急やCCUを中心とした急性期の疾患や、慢患患者を中心とした慢性疾患の画像診断に携わるプロとして、これまで以上に私達放射線技師の役割は重要になってきます。新病院の新築移転を成功させるとともに、国分生協病院の発展のために職員一丸となって共に頑張りましょう！

＜プロフィール＞

1993年 東海医療技術専門学校 診療放射線学科を卒業後、鹿児島医療生協に入職、その後、国分生協病院に配属となる。日本診療放射線技師会に入会。鹿児島超音波研究会に入会。
2000年 日本超音波医学会に入会
2003年 鹿児島生協病院に赴任。鹿児島核医学研究会に入会后、理事に就任。
2013年 国分生協病院に赴任。霧島・始良地区放射線技師会 副会長に就任。



地域包括ケア病棟のご案内

○当院の療養病棟は、2017年5月1日より地域包括ケア病棟（全39床）へ転換します。

急性期治療を経過し、病状が安定した患者様に対して、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行う病棟となります。在宅に帰る上で、地域の医療機関・介護施設等の皆様方には、ご協力を頂くことも増えると思いますが、よろしくお願い致します。

地域包括ケア病棟とは

急性期治療が終了し、在宅や施設へ移行するには不安がある患者さんに対して、在宅復帰に向けた医療、看護、リハビリを行うことを目的とした病棟です。在宅復帰支援計画に基づき、医師・看護師・リハビリスタッフ・MSWなどが治療・支援を行い、退院後も安心した生活が送れるようにサポートしていきます。

入院期間

状態に応じて調整しますが、60日を原則としております。

※御紹介に際しては、事前に患者様にお知らせ下さい。

主な受け入れ対象となる患者

在宅復帰への環境整備が必要な方。

在宅復帰に向けて、リハビリが必要な方。

急性期治療が終わり、介護施設への入所待ちの方
検査の為に短期入院の方。

社会的要因により、短期入院が必要な方。

※一定の医療的治療も可能です。

地域包括ケアいきいき活動の様子



入院費について

地域包括ケア病棟に入院された場合は、入院費は定額となります。（リハビリ・投薬料・処置料・検査料・画像診断等含む）一般病棟と同様に、高額療養費制度が利用出来ます。

地域の医療機関の皆様へ

地域の医療機関からの紹介に関しては、「地域包括ケア病棟」も含めて検討を行い、疾患・状態等に応じた病棟での受け入れを調整させていただきます。

入院希望またはご不明な点があれば、地域連携室までご相談下さい。

当院の内科紹介患者の受け入れに関するお願い

国分生協病院 院長 山下義仁

先生方からの当院内科外来への御紹介に関して、スムーズな受け入れのために、以下の予約による御紹介をお願いしたいと考えております。予約可能な方は、下記の専門外来に電話予約をお願い出来れば幸いです。

内科外来体制表 国分生協病院

		月	火	水	木	金	土
午 前 専門 外来 (8:45 ~ 11:00)	循環器	吉見	柴田	吉見	吉見		※吉見(不定期)
	呼吸器		檜田祐	大学支援医			
	消化器・肝臓			長谷	小坂元	長谷	
	腎・膠原病	前村	上村(再診のみ)		上村(再診のみ)	上村(初診・隔週)	
	神経内科				田代		

※学会出張等の都合により変更になる場合があります。詳しくは電話にてご確認ください。

お知らせ

※緊急紹介、入院が必要な方の紹介に関しては、上記体制に限らないので、お電話をお願いします。

※予約がない場合は一般内科外来担当医で対応させていただきます。

※上記体制表の中の※は、不定期となります。お電話で確認をお願いします。

※上記以外の、通常の一般外来は12時まで受付を行っています。

※当院に受診歴のない患者に関しては、保険情報のFAXをお願いする場合がありますので、ご協力をお願いします。

※不明な点があれば、お電話をお願い致します。

予約・問い合わせ番号 **0995-45-4806**

バス路線案内

(最寄のバス停はいずれも生協病院前)

・福山・垂水方面からお越しになる場合

国分駅行き(いわさきバス)、国分駅行き・鹿児島空港行き(鹿児島交通)のバスに乗車

・国分駅・空港方面からお越しになる場合

萩之元行き・上ノ原遺跡行き(いわさきバス)、垂水行き・鹿屋東笠之原行き(鹿児島交通)のバスに乗車

※国分ふれあいバスも生協病院前バス停で停車します。



鹿児島医療生活協同組合

国分生協病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目22-18
電話(0995)45-4806 FAX(0995)45-4938
<http://kokubu-seikyo.jp/>